

志塾フリースクール

# *l'avenir*

～ ラヴニール通信「ラヴ・ノート」 第4号 ～

∞・∞

活動についてのご報告 (2012 年2月から 2012 年5月)

Voice —不登校を経験した立場として—

伝言板

編集後記

∞・∞

こんにちは、ロコです。

初めて発行した通信は、今年の今ごろ発行したものでした。それからほぼ等間隔で継続して通信を発行することができ、再び巡ってきました、6月。

今年は、ほんっとにいろんな動きがあって、いろいろと大変な1年に・・・、いい意味でなるといいなあ、なんて思っています。来年の6月、「そういえば今年の6月はこんなコト言ってたっけ・・・」なんて、振り返ることができますように・・・。

## 活動についてのご報告

### ○ 日常的に ○

ラヴニールでの日常は、のんびりまったり、という言葉がぴったりでしょうか。

お昼ごはんを食べたり、ゲームをしたり、ラヴニールにあるものを使ったり。誰かがやっているゲームを覗き見して、時には交換してやりあったり。そのときによって、様子はだいぶ変わります。

ときどき、「参加するイベントが近いから、それに合わせて掲示するものを作る！」なんてこともやったり・・・



夏スタイルに模様替え中

### ○ 今後の動きとして ○

ラヴニールの体制作りを、しっかりしていきたいな、と。

組織として、どうあるべきか？ このあたりを、もっとしっかりと。どういう場でありたいか、何をお伝えしていくのか、などなど。これを、「個人の思い」ではなく、「団体としての思い」に、どう転換していくのか。

ラヴニールとして活動を始めて、2年が経過しました。「個人の思い入れが強い場所」から、「団体・組織として活動していく場」へ、転換していく時期かな、と思っています。

### ○ 合同説明会の開催 ○

その一環として、というわけではないのですが、ラヴニールに見学に来た方たちに対しての「説明の機会」を、ちょっと変えようかと検討中です。

これまでは、「事前に連絡をいただき、その都度」という方法でした。この方法だと、個別の質問は受けやすい反面、「親同士がつながる」などの、「同じ境遇をもつもの同士」の結びつき合いを構築することが難しく、「子どもが学校に行かないのは、うちだけじゃないかしら・・・」「周囲からいろいろ言われる・・・」など、「自分だけで悩みを抱えてしまい、どんどん追い詰められていく」という、悪循環、孤立の状態に陥りやすいかな、と考えています。



同じ悩みをもつ者同士が悩みを共有することで、「そうそう！うちもこんなことあったんよ・・・」とか、「ああ、うちはね、こうして乗り切ったんよ」など、「うちだけじゃなかったんだ！」という、「親が安心感を得るきっかけ」につながるのではないかしら、と考えています。

また、現在は共働き家庭が増えてきていることで、平日はなかなかお休みが取りにくい、という方も、いらっしゃるのではないのでしょうか(事実、面談にいらっしゃる方の中は、「今日は仕事をお休

みして来ました」という方がいらっしゃったり、こちらとしても申し訳ない気持ちです)。

このような考えから、月に1度、土曜日のどこかを、「合同説明の日」としようか、と、現在スタッフ同士話し合っているところです。

これまでの個別説明も受けつつ、またちがったスタイルの説明の機会も設ける、といったスタイルです。

さて、どうなることやら？

## ○ 助成金をいただきました ○

1月の半ばに、助成金の申請を、公益財団法人 倶進会に提出しました。

助成金のテーマは、「不登校の子どもたちの教育の場・居場所事業の基盤強化のために」。助成金をいただけたならば、暑い夏・寒い冬を凌ぐために冷暖房器具や関する備品を購入すること、活動内容を知っていただくために通信を印刷・発行すること、などを目的として各種書類を整備、提出しました。

実は、前回通信発行時が、その申請書類を郵送した、割と直後でした…。どうか申請が通りますように！ と、いちばんハラハラしていたときでした。

そして、3月末。届いた結果は…、満額助成の回答！ 通知を見た瞬間、思わず「よっしゃあ！」と雄たけび(?)をあげてしまったほどです。

この通信も、倶進会からの助成金で印刷・発行しています。

1年間、いただいたお金を大事に使います。本当にありがとうございます！

## ○ その他イベント、会議など ○

### フリースクールスタッフ「研修・養成講座」 ならびに、第4回日本フリースクール大会

東京にある国立オリンピック記念青少年総合センターで2月3日と4日に行われたフリースクールスタッフ養成研修講座に参加してきました。



オリンピックセンター宿泊棟☆

講座や交流会、分科会、講演会など盛り沢山の2日間。私は初参加だったので「フリースクールとは何か」という基礎講座から始まりました。初参加の方も多く、教育・福祉系の大学生や職業の方、ボランティアをされてる方、実際にフリースクールに携わってる方、保護者の方など様々な理由を持って参加されてました。

交流会や宿泊棟に戻ってからのお話も多岐にわたり、夜遅くまで続きました。年齢も立場も違う人たちと討論し合える貴重な場で、すごく面白かったです。

分科会は「フリースクールのつくり方」に参加しました。金銭的な問題や、継続していくコツなどを相談したり、担当のスタッフの方からアドバイスを頂いたりしました。参加者が10人弱だったので全員とお話することができましたよ！

午後からは喜多明人さんの講演会と、多様な教育の未来についてのシンポジウムが行われました。

フリースクールは不登校の子だけが通うところではない。

フリースクールにも色々な体制や考え方がある。

子どもも一人の人間である。

偏見などがあつた訳ではないのですが、改めてお話を聞くと目から鱗が落ちたような気分でした。

不登校の原因や、学校の問題すべてがフリースクールによって解決されるわけではありません。

だからと言ってこのままで良いとも思わないです。教育現場はもっと柔軟であって欲しいと思います。選択の余地があるだけで救われる子どもたちはたくさんいるはずですよ。

私自身、ここに来るまでにこんなにたくさんの教育や学びがあるなんて思ってもみませんでした。私は何の疑問も無く、義務教育を終えましたが自分に合った教育を選び、出会えていたらまた違う人生だったかもしれません。

たくさんの出会いや考え方に触れ、ぐんと視野が広がった気がします。

その後、京田辺シュタイナーに見学にも行きました。私もフリースクールや学校を目で見て感じてみようと思います。本当に有意義な2日間でした！  
(ボラ A・S)

私ロコは、3日のスタッフ研修から5日の日本フリースクール大会（以下、JDEC）まで参加したので、表向きは1泊ずつで別々のイベントでも、体感的には「2泊3日」のような感覚です。



今年の JDEC は、「多様な学び」に焦点をあてて、子どもの学ぶ権利についての講演、様々な学びの場での実践・問題などを取り上げたように思います。

様々な学びの場において、実践こそ各々の場で異なれど、根底にある問題は、「地域の公立学校と学びの場との二重籍」など、大きくはちがわないのかもしれませんが。

他、分科会では、オルタナティブ教育法(仮称)や、フリースクールとコミュニティ、フリースクールと子どもの参画などのテーマで、それぞれのテーマに沿って活発な議論が交わされた・・・、ようです。

マに沿って活発な議論が交わされた・・・、ようです。



スタッフ講座でいただいた修了証

個人的には、スタッフ研修、JDEC での学びは、「当たり前のことのはずなのに、目からウロコが落ちたよう」な気持ちになります。ノートに走り書き、だけでは勿体なく、清書して別バインダーに綴じ直しているぐらいです(パソコンで作成しろよ・・・、というツッコミはナシをお願いします！)。このノートは、誰でも閲覧できるように、ラヴニール内に置いておこうと思います。私のとても大切な宝物のひとつです。

ここで学んだことを、日々の活動に少しでも活かせるよう、時々読み返してみるのも、ひとつかな、と思っています。  
(2012年2月)

## 「不登校」と「非行」

～学校を取り巻く環境と子どもたちのことを考える一日限りのフォーラム～

大阪府私学会館にて、NPO 法人関西こども文化協会、NPO 法人フリースクールみなも、北星学園余市高等学校の主催で、フォーラムが開催されました。

映画の上映と、講演、シンポジウム。これらと並行して、不登校や非行に関わる様々な団体の情報展示も行われまして、ラヴニールの活動の様子も展示の機会をいただきました。

2月の JDEC のときに、ラヴニールの活動内容を紹介するため、模造紙に活動内容をまとめたものを作っていたのですが、ここでも大活躍！ さ

らに活動内容がわかるように、テーブルの上には過去に発行した通信と、アルバムを作成し、持参しました。



限られた空間で、どれだけのことをお伝えしていくか……。活動の様子をお伝えするのって、なかなか難しいです。

講演を聞くこともでき、

「(子どもたちは)ニセモノの自分をつくる(=キャラを作る)ことをしないと、今の学校の中では生きていけないという、大変つらく、しんどい状況にある。不登校とは、『こんな自分は自分じゃない』と、周囲に助けを求めるときに1つの行動であり、これを、どんな姿でも受け入れられた、人間として大切にされた、といった経験を得て、初めて『育ちなおし』を経験することができる」

「育ち直しとは、安心を得たことで、今を生きることができた。今を生きることができたのだから、今度は将来のことを考えてみよう、という、前向きな、『新しい育ち』」

「学校でも、家庭でも、フリースクールやフリースペースでも、どんな場所でも『育ち直し』の場所になり得ることができる」

などなど……。

そんな場所のひとつに、ラヴニールもなっていきたい！ いくんだ！ という原点の目標を、改めていただいたような気がします。

(2012年3月 ラヴ・ブログより一部改変)

## おるたねカフェ

午後2時から開催された、おるたねカフェに参加しました。

これまでに何回か開催されているそうで、今回

は、「フリースクールみなも」さんの活動についてのお話。

スタッフの方からお話を伺うことができました。

みなもが設立された経緯から、現在の様子、などなど。

その後、参加者からいろんな質問が。

フリースクールの可能性とか、将来像とかの話(?)も出て、なかなかおもしろかったです。

(2012年5月 ラヴ・ブログより)

## Voice

### —不登校を経験した立場として—

不登校について言われていること、経験してきたこと等、つづっていきます。(無断転載厳禁)

### 生きていて無駄なことなんてない

はじめまして、私は志塾フリースクール「ラヴニール」のボランティアをしています。私は22になっても就職活動をせず、そして大学を留年し、大学院進学へ向けてダラダラと本を読む生活をしています。かくいう私も不登校を経験し、今をさかのぼること10年ほどになります。私が学校へ行かなくなった理由は様々であります。色んな要因が絡み合って、頭が痛いと言い出して、休むようになりまして。現在、不登校となっている方も、実際どうして不登校になったのか説明しろと言われても難しいでしょう。背景には一言で言うに言い切れないものがあります。それとまた、不登校というものは、私にとって未だに整理のつかない出来事です。「もし、私が中学高校へと学校に通い続け、人並みのことができれば。もっと違う人生になれたのに。」と考えるとキリがありません。学校に行かないときというのは、とても辛いときであ



ります。学校に行かなくなってから、朝起きてから8時半(学校が始まる時間)までは、どうしても頭が痛く、布団から起き出すことが出来ないものです。どうしてもその時間帯に起きてしまうと、学校へ行かなくてはならないという義務感が体に襲いかかります。その義務感から逃れようと必死になってもがきます。私の脳内で、朝から学校に行きたくない本能的な自分と学校に行かなくてはならない使命的な自分が毎日喧嘩をします。結局のところ、この争いで勝つのは後者であります。布団の中に潜り込んでしまって勝敗が決します。しかし、人と違うことをするのは、その人にとって自己肯定感を保つことが出来なくなってきました。人と違うことをしていることに対して、本人や親御さんがとても焦るのではないかと心配です。焦ることは禁物であると思います。学校に行かなくなったからといって、すぐにフリースクールや適応指導教室へ行かせて学校に戻そうと焦っても、それほど効果は見込めません。本人のペースに合わせたほうがいいでしょう。私は色々と恵まれたせいか、様々な精神科、脳外科、そして病院のカウンセリングから、適応指導教室に至るまで不登校児でありながら、忙しい日々を送っていました。自分にとって合わない環境であれば、これらがプラスになるとは言い切れないものです。ダイエットと同じで、急にやってしまうと、すぐには良くなっても最終的にはどうしてもリバウンドしてしまいます。とてもデリケートで難しい問題であると思います。

そんな私より今、学校生活に困難を抱えている方へ言うておきたいことがあります。どんな出来事であったとしても、本人にとって無駄なことはいくつもないということです。たとえば、その日一日中寝ていたとしても、それが次の日に頑張ろうと思

わせるかもしれませんし、寝ていたことから、何かを見つけることだって可能です。学校に行っていないことで、あまり負い目を感じる必要性はありません。学校に行かない時間はいろいろなことができます。好きな本や雑誌、漫画を読むことだって出来るし、パソコンやゲームをすることだってできます。なんだってできるのです。そこから、あなたがこれからやりたいことを見つけていけば良いと思います。いつ、見つけられることなのかは分かりませんが、誰だって急に何かを始めて成功をすることは出来ませんし、大人の人達も紆余曲折があつて今の状況に落ち着いているものだと思います。みんな失敗を繰り返しながら、成長しているということです。今、学校に行っていないという現状がとても苦しいことかもしれませんが、それを受け入れ、その状況を楽しみましょう。



この、「Voice—不登校を経験した立場として—」では、不定期で、いろんな立場で不登校を経験した方の「生の声」を掲載していく予定です。掲載にあたっては、本人の承諾をいただいた上で掲載をしています。

個人名や年齢などが特定されると編集者が判断した場合、その箇所を編集し、再度本人に確認をとった上で掲載することがあります。他、一部をのぞき、いただいたままの文で掲載をしています。

## 伝言板

### ○ 賛助会員・カンパのお願い ○

ラヴニールの活動のため、財政的援助をしてい

ただけると、大変助かります。

ただいま賛助いただいた資金は、ボードゲームなどの子どもと大人が混じって遊ぶものを購入する資金として、大切にに使わせていただきます。

皆さんからの暖かいお気持ちが、ラヴニールの活動をより充実したものへと発展させるきっかけとなります。

ご支援いただきました場合は、賛助のお礼として通信「ラヴ・ノート」と、イベント情報等を送らせていただきます。

ぜひ、支援をよろしく願いいたします。

振込み先(郵便振替)

口座番号 00910-1-171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

それ以外の銀行から

ゆうちょ銀行 店名 ○九九店

預金種目 当座 口座番号 0171298

加入者名 志塾フリースクール「ラヴニール」

一口 3000 円／年 複数口のご応募  
大歓迎です

郵便振替の場合、氏名、住所と、費目(賛助会費として、等)、寄付をいただいた方としてこの通信に氏名掲載の可否(氏名の掲載可、イニシャルの掲載可、不可のいずれか)を備考欄に明記のうえ、よろしく願いいたします。

## ○ ありがとうございます ○

匿名の方より、賛助会費をいただきました。  
ありがとうございます。

## ○ 譲ってください！ ○

現在希望が出ているのは、次のとおりです。ご家庭にあるもので、現在お使いになられていないものがありましたら、ぜひ、お譲りください。

下記以外にも、フリースクールの活動に役立つようなものがありましたら、ご一報ください。

現在希望が出ているもの

クッション、ミシン、ボードゲーム、カードゲーム、プレーステーション2の本体、ソフト。プレーステーションのコントローラ。

パソコン(中古で起動するもの)

…などなど。

## ○ ブログ・twitter のご紹介 ○

ラヴニールの日ごろの活動の様子を、ブログではできるだけ写真をつけて、twitter ではできるだけリアルタイムで書き綴っております。

ラヴニールに関すること、フリースクール同士の共同でのイベント、会議のことなども、少々ながら掲載しておりますので、ぜひ、ご覧ください。

## ひとこと

しばらく寒さを引きずっていたと思ったら、急に暖かくなり、桜の季節もリニア並みの速さで終わり。大荒れの天気には怯え…。実はまだ、暑さに体がついて行っていない気さえます。これからは大の苦手な季節到来…。(ロコ)

アルバイト先から家まで4時間かけて歩いて帰りました。夢は日本を歩いて回ることです！ とりあえず、今年中にラヴニールまで歩いて何時間かかるかやってみます。(ボラ A・S)

最近暑くなったり寒くなったりで、体調が崩れやすい温度変化ですね！ 暑いときは夏っぽいので、そろそろ BBQ したいと思います(ボラ Y.W)

はじめまして、4 月からボランティアでラヴニールに参加するようになりました。この時期は大きなレースがあるので、ついギャンブルに走ってしまいますね。この衝動をどうにかしないといけません。(ボラ H・M)

## 編集後記

「活動についてのご報告」にも書きましたが、思い切って助成申請をしてみました。初めてのことでしたが、この申請が通ったことで、今年の活動も安定して続けていくことができそうです。

本当に、ありがとうございます。

また、書類を作成するにあたって、何人かの方にお力添えをいただきました。誠に感謝しております☆ 無理を言ってすみませんでした…

さて、そんなこともあったためか…。前回通信から何があったんだっけ？ と振り返るにあたり、この4ヶ月間が案外長いようで、短いようで、よくわからなくなっています。

スキーのことを書かなきゃ！ と思ったら、それは前号で書いていたし、逆にJDECがあったのは遠い昔の話のようで…(汗)。

他、ちょうど今号の編集作業を始めよう、というころは、関西の学校以外の学びの場のネットワーク(ふりー！ すくーりんぐ)の「あること」で立て込んでいて、慌ただしい中でできた通信ですが、どうか予定どおり皆さんのお手元にお届けすることができました。

ほんつとに、多くの人に支えられてのこと…、と痛感した、今回の通信発行でした。

次号は、予定通りならば、10月ごろに発行の予定です。



志塾フリースクール「ラヴニール」

対象年齢 6歳から18歳  
(高卒資格コースのみ20歳まで)  
活動時間 月曜から金曜の10時から17時  
ただし、水曜のみ15時まで  
原則土・日、祝日、年末年始  
お盆前後はお休みです  
(変更の可能性あり)

入会説明 月に1度土曜日に合同説明会、他、随時行っております  
体験入会期間(2週間)は無料でご利用いただけます

代表 林 裕子

スタッフ 常勤1名、他非常勤数名

住所 544-0023

連絡先 大阪市生野区林寺2-25-24  
JR大阪環状線寺田町駅  
関西本線東部市場前駅、  
ともに徒歩12分  
他、あべの橋方面よりバスあり

Tel/fax 06(6776)2629  
(活動時間外は留守番電話)

e-mail lavenir@view.ocn.ne.jp

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~lavenir/>

twitter <http://twitter.com/#!/lavenir65>

ラヴニール通信「ラヴ・ノート」

発行日 : 2012年6月13日

発行者 : 志塾フリースクール「ラヴニール」

発行人・編集: 林 裕子

この「ラヴニール通信『ラヴ・ノート』」は、  
**公益財団法人「俱進会」**の助成金を使用し、  
印刷・発行しています。



